

放射線科の仕事

放射線科では医師2名、技師6名で、主に画像検査と放射線治療を担当しています。

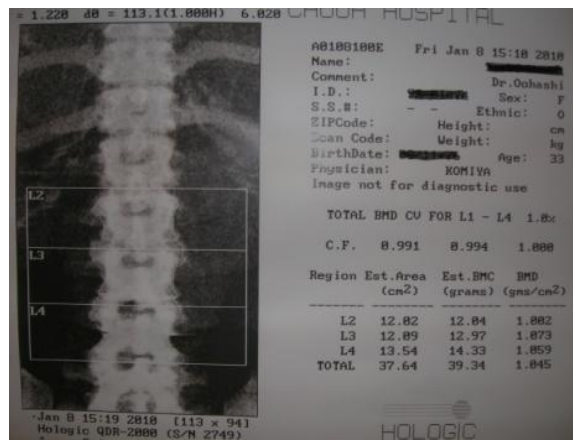


X線検査(レントゲン検査)

胸部・腹部・骨・軟部組織等を撮影します。



骨密度測定



X線透視 生体内を透視して観察を行います。
胃透視検査。脊髓腔造影検査など

血管撮影 血管に造影剤を入れ、診断、治療
を行います。



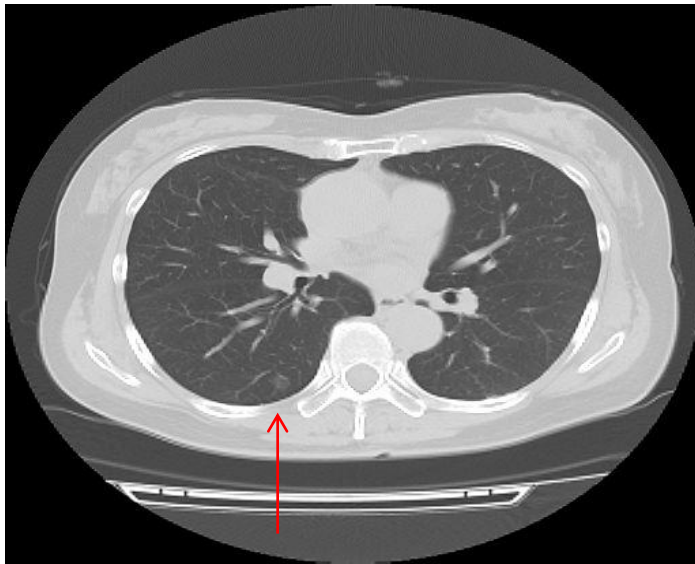
X線透視室 脊髓腔造影検査中



血管撮影室

X線CT検査

- X線撮影の応用で、X線を細いビームで身体を一周して断面図を作ります。それを繰り返すことで身体の断面画像を作ります。

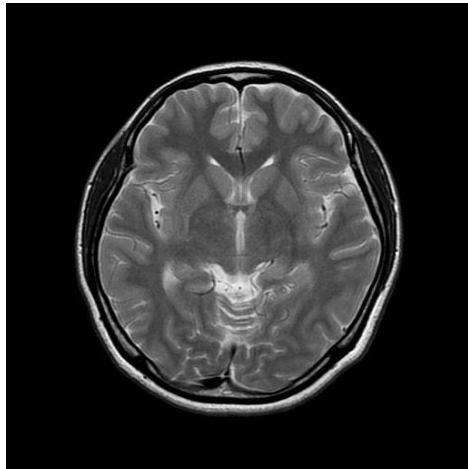


早期肺癌



MRI検査

- 高磁場をかけて生体内の水の運動の差を画像にする検査です。多断面の撮影が可能。
- 磁気カード、腕時計、財布の他、金属類の持ち込みは禁止されています。



正常の脳

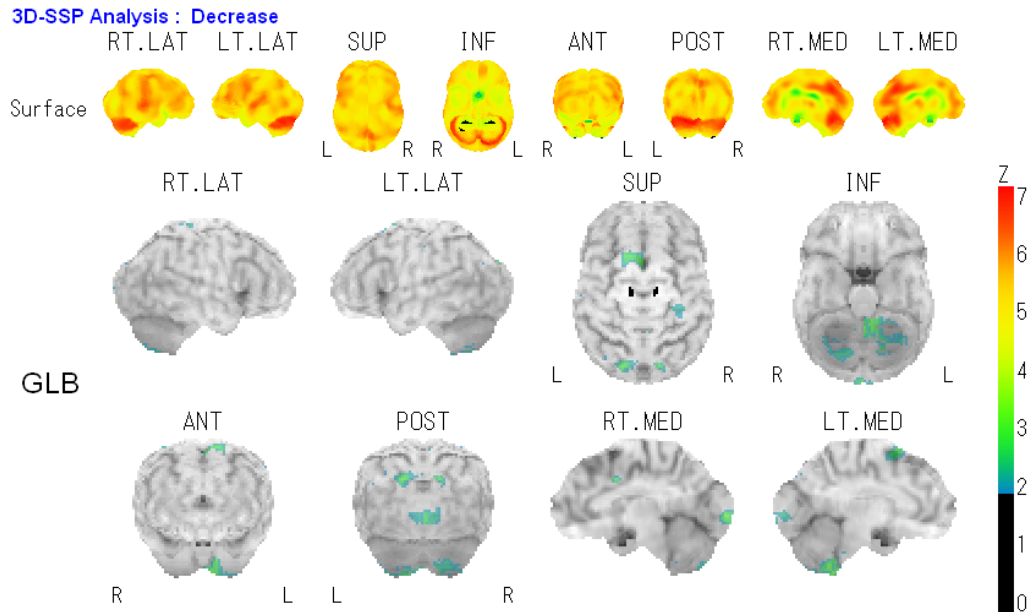


脳の主要血管



RI検査

- 微量の放射線性物質を、目的とする臓器へ取り込ませて、体外へ放出されたものを画像にする検査です。診断の補助に画像解析ソフトを使用することもあります。



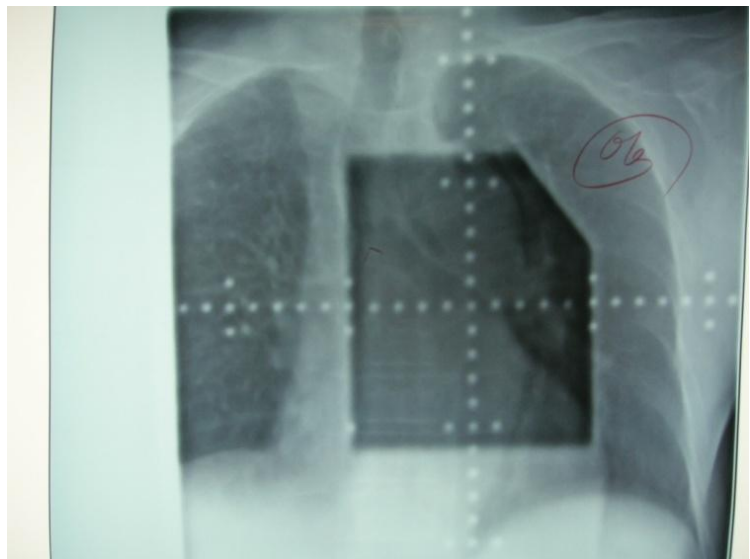
脳内の血流低下部位の一例

放射線治療

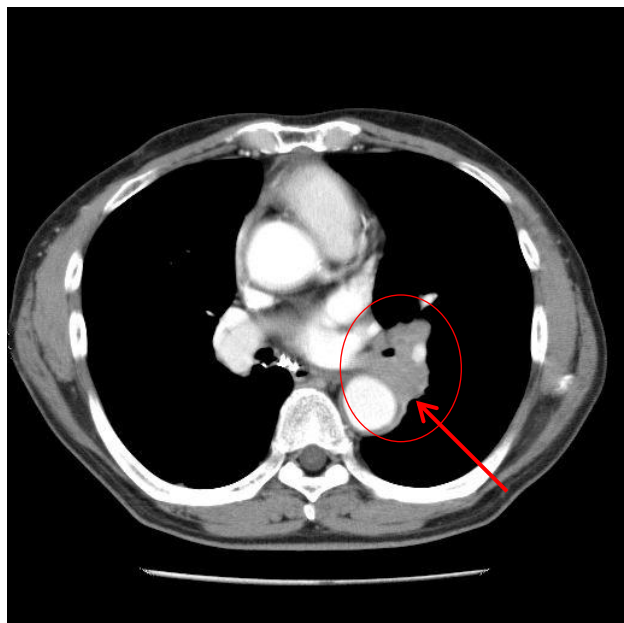
- 主に悪性腫瘍に高エネルギーのX線、電子線をあてて治療します。当院は肺癌の治療の一環として行うことが多いです。



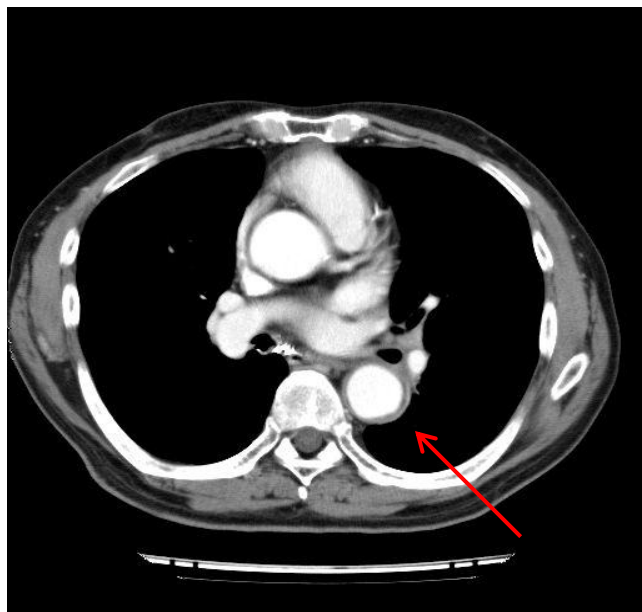
肺癌放射線治療例



放射線を当てた領域



治療前



放射線治療＋抗がん剤治療
3ヶ月後 縮小